

については死亡診断書も送ってもらう。

9月～10月：解析①提供された退院時要約記載指針から読みとれる趣旨と診療内容等をまとめる。

②退院時要約に含まれる項目をリストアップし出現頻度から重要度などを把握する。

11月～12月前半：退院時要約記載マニュアル（案）の作成

12月～ 明年1月：フィールドテスト（研究協力病院において実施）

明年2月～ 3月前半：フィールドテストの評価とマニュアルの確定及び報告

【研究施設】一般社団法人日本病院会事務局で資料収集、作業、分析と資料の保管。

【各研究者の分担】大井利夫（研究代表者）＝総括。川合省三・高橋長裕・大塚秋二郎・宮内文久・松本万夫・三木幸一郎（分担研究者）＝臨床医師の立場として、また診療情報管理士の立場から研究協力病院から提供される退院時要約用紙群を基に解析する。

阿南誠・荒井康夫（分担研究者）＝診療情報管理士指導者の立場として医師である分担研究者とともに実務者として退院時要約について分析する。

【目標症例数等】

全国のDPC対象病院や臨床研修指定病院などを対象に200病院程度から資料を収集する。1病院から退院時要約記載指針と退院時要約の手術例5症例と非手術例5症例と死亡例5症例（死亡診断書を含む）、そのうち100病院から1,500症例を予定している。

8. 倫理面への配慮

・研究対象者に対する人権擁護上の配慮、不利益・危険性の排除や説明と同意（インフォームド・コンセント）への対応状況及び実験動物に対する動物愛護上の配慮等を記入すること。

本研究計画については、日本診療情報管理学会研究等倫理審査委員会にて審査されることが前提となる。退院時要約の収集では実際の症例毎の退院時要約の提供を予定しており、その際匿名化する。具体的には、患者の個人情報である診療情報は、疫学研究の倫理指針に準拠した体制の下に、協力医療機関からの資料は当該施設にて匿名化の実施を原則に、各医療機関にて個人情報を黒く塗りつぶすなど工夫を施し書留郵送にて収集することとする。収集した情報の保全についても、事務局に入室が制限された保管室（または金庫内）に保管する、またデータは外部と物理的ネットワーク上、接続されないパソコン内で解析を行う等、個人情報の保護に配慮して研究を進める。

病院毎の研究への参加は、各医療機関の長による承認あるいは倫理審査を経て実施すること、また、匿名化を各医療機関において行うので、とくに本人の同意は必要ない。しかしながら、必要に応じて、研究結果を公開するなどの個人情報保護法上、必要な措置を講じることとする。また、本研究者及び解析担当者については誓約書提出を求め、知り得た内容の漏泄を厳に戒め取り扱うと同時に直接的に患者を特定できる情報を取得しない。

遵守すべき研究に係る指針等

（研究の内容に照らし、遵守しなければならない指針等については、該当する指針等の「□」の枠内に「○」を記入すること（複数の指針等が該当する場合は、それぞれの枠内に「○」を記入すること。））。

ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針

疫学研究に関する倫理指針

遺伝子治療臨床研究に関する指針

臨床研究に関する倫理指針

ヒト幹細胞を用いる臨床研究に関する指針

<input type="checkbox"/>	厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針
<input type="checkbox"/>	その他の指針等（指針等の名称： _____）
疫学・生物統計学の専門家の関与の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 ・ その他（ _____）
臨床研究登録予定の有無	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 ・ その他（ _____）

平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金(政策科学総合研究事業統計情報総合研究)「死因統計の精度向上の視点から病院医療の質に資する退院時要約の検討」への研究協力依頼—研究方法の概要

退院時要約用紙へ記入する病名記入方法等の改善に関する検討

退院時要約用紙への記入にあたっての問題点、課題などを全国レベルで調査します。退院時要約に書くべき内容、例えば患者の基本情報から始まり、入院日と退院日、入院に至る経緯および経路、主訴、現病歴、既往歴、家族歴、入院時の現症および検査成績、入院後の経過、今後の方針および考察と患者への説明がどの程度記載されているのかを評価します。また、退院時要約および死亡診断書の提出にあたっては、匿名化をお願いします。(提出にあたっては、個人識別情報等を消去し、高いレベルの匿名化処置※1をお願いします。)

1. 上記の資料を、本研究班において、医師※2と診療情報管理士指導者により退院時要約の記載項目と記載内容の確認および死亡例においては死亡診断書の死因欄などの記載内容を検討し、その原死因コーディングの妥当性を評価します。
2. 各研究協力病院に対しては、本集計の結果について総括研究報告書を通じて情報を還元します。

〔図 説〕

- (1) 平成 25 年 7 月に本研究に協賛する病院に対し、資料一式を送付します。
- (2) 協賛する病院からの提供資料として、資料一式とともに同封した簡易書留を使い、平成 25 年 8 月 31 日までに事務局宛に送付願います。提供資料は次の 4 内容とします。

- ①退院時要約記載指針 (該当する規程および記載マニュアル等含む)
- ②腰椎麻酔または全身麻酔を伴う手術例 5 症例
- ③非手術例 5 症例
- ④死亡例 5 症例 (同症例の死亡診断書も併せて提出してください)

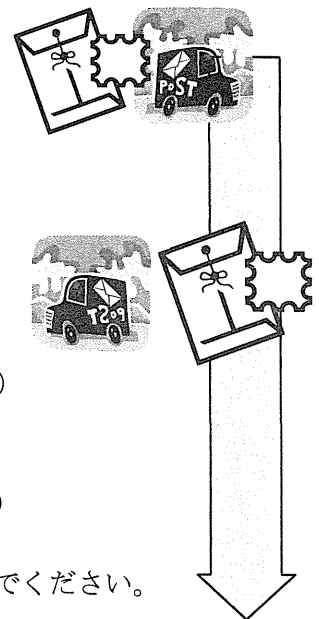
ただし、②③④については添付資料 4 を参考に各 5 症例を選んでください。

研究班においてこれら研究対象のデータについて

- (1) 退院時要約記載指針の内容の確認。
- (2) 匿名化した各退院時要約の記載項目および記載内容の確認を行う。
- (3) 死亡例については退院時要約と死亡診断書の記載内容を検証して原死因をコーディングし、お互いに比較をし、その異同を評価する。

※1 「高いレベルの匿名化」とは、氏名・生年月日・住所、および施設名・主治医署名などの記載を抹消していただき、死亡日・時刻は残した形でのデータで提出していただくことを意味します。氏名・生年月日・住所などの記載を抹消することで、その施設に死亡日・時刻を照会することで対象症例の確定はほぼ可能ですが、研究班側ではその診断書の個人を特定することができない状況となります(ただし、誕生年と性別は除く)。

※2 評価に当たる医師としては診療情報管理業務および ICD-10 に精通した医師があたることとします。



平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業統計情報総合研究）「死因統計の精度向上の視点から病院医療の質に資する退院時要約の検討」における提供資料について—手術例 5 症例、非手術例 5 症例と死亡例 5 症例の 3 種類 15 退院症例の選び方

各診療科から偏りなく資料を提供してもらうことを目的とした参考例

1. 入院担当となる診療科が 15 診療科以上あるケース（例）

- (1) 当該期間第 1 日目の退院症例をリストアップし、一診療科から手術例 5 症例、非手術例 5 症例と死亡例 5 症例の 3 種類 15 症例の退院症例から、いずれか 1 症例を目安として提供資料とする。
- (2) この時点で、各診療科から退院症例があれば、その各症例を対象症例とします。各診療科症例が 15 診療科以上あれば、無作為に適宜 15 診療科分の症例を選びます。
- (3) 対象症例が 15 症例に満たない場合は、不足分をさらに選定するために、次いで翌日の退院症例のリストアップを行います。
- (4) すでに対象として選定された診療科以外の退院症例があれば、同一診療科からの退院症例を各 1 症例に限って（内容にかかわらず無作為に）対象症例として選定します。
- (5) 対象症例が 15 症例以上あれば、当該日退院分の対象症例から内容に関わらず無作為に合計 15 症例とします。

診療情報管理担当者様

平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金統計情報総合研究
事業統計情報総合研究

「死因統計の精度向上の視点から病院医療の質に資する
退院時要約の検討」

研究代表者 大井利夫（一般社団法人日本病院会顧問）

（公印省略）

医療機関からのデータ提供に基づく「死因統計の精度向上の視点から
病院医療の質に資する退院時要約の検討」への協力依頼

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より多大なご支援ご協力賜り、誠にありがとうございます。

さて今回、標記の件につきまして7月1日付本研究事業から貴院に対しご協力のご依頼をお願い差し上げましたところ、その趣旨にご賛同を賜り、該当するデータを提供いただく運びとなりましたこと大変感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

つきましては、次のとおり資料をお送りいたしますので、大変恐縮でございますが今8月いっぱいを目途に同封の返信用小包封筒にてご返送いただきますようよろしくお願いいたします。

諸事ご繁忙と存じますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

敬具

記

1. 添付資料 ①平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業統計情報総合研究）「死因統計の精度向上の視点から病院医療の質に資する退院時要約の検討」への研究協力依頼—研究方法の概要（1 ページ）
②同研究における提供資料について—手術例 5 症例、非手術例 5 例と死亡例 5 症例の 3 種類 15 退院症例の選び方（1 ページ。①の裏面）
③返信用のレターパック 1 部
2. 確認事項 ①「退院時要約記載指針」につきましては、該当する規程または記載マニュアルでも構いません。ただし、電子カルテへの入力方法・操作を謳ったものではございません。また、該当するものがない場合は、資料提出の際その旨お書きください。
②今回の研究は、貴院における「退院時要約」に関する観察研究となります。つきましては、提供いただく 3 種類 15 退院症例のうち、死亡例 5 例についてはその死亡診断書の写しも必要となります。

以上

問い合わせ先：一般社団法人日本病院会（通信教育課担当 きずわ 千須和、星野）
〒102-0082 東京都千代田区三番町 9-15 ホスピタルプラザビル
電話 03-5215-1044、FAX03-5215-1045

平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業統計情報総合研究）
「死因統計の精度向上の視点から病院医療の質に資する退院時要約の検討」への研究
協力依頼—研究方法の概要

退院時要約用紙へ記入する病名記入方法等の改善に関する検討

退院時要約用紙への記入にあたっての問題点、課題などを全国レベルで調査します。退院時要約に書くべき内容、例えば患者の基本情報から始まり、入院日と退院日、入院に至る経緯および経路、主訴、現病歴、既往歴、家族歴、入院時の現症および検査成績、入院後の経過、今後の方針および考察と患者への説明がどの程度記載されているのかを評価します。また、退院時要約および死亡診断書の提出にあたっては、匿名化をお願いします。（提出にあたっては、個人識別情報等を消去し、高いレベルの匿名化処置※1をお願いします。）

1. 上記の資料を、本研究班において、医師※2と診療情報管理士指導者により退院時要約の記載項目と記載内容の確認および死亡例においては死亡診断書の死因欄などの記載内容を検討し、その原死因コーディングの妥当性を評価します。
2. 各研究協力病院に対しては、本集計の結果について総括研究報告書を通じて情報を還元します。

〔図 説〕

(1) 平成 25 年 7 月に本研究に協賛する病院に対し、資料一式を送付します。

(2) 協賛する病院からの提供資料として、協力依頼状とともに同封したレターパックを使い、平成 25 年 8 月 31 日までに事務局宛に送付をお願いします。提供資料は次の 4 内容とします。

- ①退院時要約記載指針（該当する規程および記載マニュアル等含む）
- ②腰椎麻酔または全身麻酔を伴う手術例 5 症例の退院時要約
- ③非手術例 5 症例の退院時要約
- ④死亡例 5 症例の退院時要約と同症例の死亡診断書

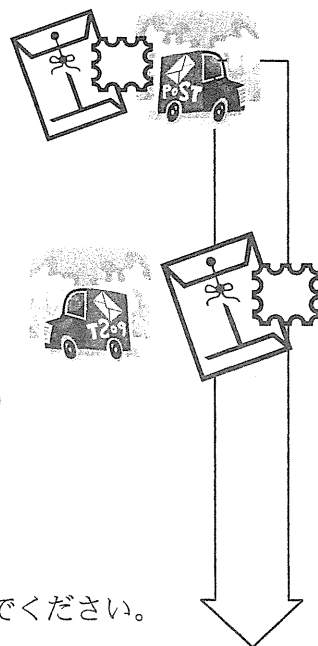
ただし、②③④については添付資料 4 を参考に各 5 症例を選んでください。

研究班においてこれら研究対象のデータについて

- (1) 退院時要約記載指針の内容の確認。
- (2) 匿名化した各退院時要約の記載項目および記載内容の確認を行う。
- (3) 死亡例④については退院時要約と死亡診断書の記載内容を検証して原死因をコーディングし、お互いに比較をし、その異同を評価する。

※1 「高いレベルの匿名化」とは、氏名・生年月日・住所、および施設名・主治医署名などの記載を抹消していただき、死亡日・時刻は残した形でのデータで提出していただくことを意味します。氏名・生年月日・住所などの記載を抹消することで、その施設に死亡日・時刻を照会することで対象症例の確定はほぼ可能ですが、研究班側ではその診断書の個人を特定することができない状況となります（ただし、誕生年と性別は除く）。

※2 評価に当たる医師としては診療情報管理業務および ICD-10 に精通した医師があたることとします。



平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業統計情報総合研究）「死因統計の精度向上の視点から病院医療の質に資する退院時要約の検討」における提供資料について—手術例 5 症例、非手術例 5 症例と死亡例 5 症例の 3 種類 15 退院症例の選び方

各診療科から偏りなく資料を提供してもらうことを目的とした参考例

1. 入院担当となる診療科が 15 診療科以上あるケース（例）
 - （1）当該期間第 1 日目の退院症例をリストアップし、一診療科から手術例 5 症例、非手術例 5 症例と死亡例 5 症例の 3 種類 15 症例の退院症例から、いずれか 1 症例を目安として提供資料とする。
 - （2）この時点で、各診療科から退院症例があれば、その各症例を対象症例とします。各診療科症例が 15 診療科以上あれば、無作為に適宜 15 診療科分の症例を選びます。
 - （3）対象症例が 15 症例に満たない場合は、不足分をさらに選定するために、次いで翌日の退院症例のリストアップを行います。
 - （4）すでに対象として選定された診療科以外の退院症例があれば、同一診療科からの退院症例を各 1 症例に限って（内容にかかわらず無作為に）対象症例として選定します。
 - （5）対象症例が 15 症例以上あれば、当該日退院分の対象症例から内容に関わらず無作為に合計 15 症例とします。

平成 25 年 11 月 15 日

日本診療情報管理学会 ICD の向上に関する協力者
関係各位

平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業
統計情報総合研究「死因統計の精度向上の視点から
病院医療の質に資する退院時要約の検討」
研究代表者 大井 利夫（一般社団法人日本病院会顧問）
（公印省略）

医療機関からのデータ提供に基づく退院時要約に関する調査への協力について（お願い）

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より多大なご支援ご協力賜り、誠にありがとうございます。

さて、平成 24 年度の先行研究「死亡診断書の精度向上における診療情報管理士の介入による記載適正化の研究」（研究代表者＝大井利夫）では、死亡診断書が作成される医療機関において診療情報管理士が助言を行うことにより、死亡診断書の精度に影響を及ぼす要因が減少し、死亡診断書に記された内容の精度が向上することが判明しました。この研究結果を受け、厚生労働省統計情報総合研究・事後評価委員会からは死亡診断書の精度向上を目的に診療情報管理士を関与させることの重要性と診療情報管理士に必要な研修を受けさせ、医療現場で死亡診断書を作成する医師に助言を行う体制の確立が期待されるとの高い評価を得ることができました。

一方、この先行研究の中で検証した死亡診断書の精度向上に影響を及ぼす要因のうち、死亡診断書と退院時要約の内容に相違ありとする項目が目立つ結果となりました。その事由は、以前より指摘されていた診療内容の拠り所とした退院時要約自体の記載内容が不十分であることが起因すると考えられ、死亡診断書の原死因選択に影響する経緯が退院時要約に的確に記載されているか否かを検証する必要があると考えました。

本年度は、これらの経緯を踏まえ、DPC 対象病院や臨床研修指定病院など全国 217 病院を対象に、病院毎に使われている退院時要約を記載する際の指針と死亡例を含む実際に書かれた匿名化された退院時要約を集め、その現状の把握を主な目的に企画し研究をすすめています。

つきましては、研究協力病院からの提出データのうち、退院時要約の記載項目および内容の把握について ICD に熟知した医師としての豊富な経験と公正な視点からご協力をお願いしたいと考えております。

今後、診療情報の質向上、ひいては医療の質向上の一翼を担うべく、より一層努力したいと考えておりますので今後ともご理解を賜りますようお願い申し上げます。

敬白

問い合わせ先：

平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業
統計情報総合研究事務局

一般社団法人日本病院会学術部（通信教育課担当 ちすお 千須和、星野）

電話 03-5215-1044

FAX 03-5215-1045

診療情報管理士指導者
関係各位

平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業
統計情報総合研究「死因統計の精度向上の視点から
病院医療の質に資する退院時要約の検討」
研究代表者 大井 利夫（一般社団法人日本病院会顧問）
（公印省略）

医療機関からのデータ提供に基づく退院時要約に関する調査への協力について（お願い）

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より多大なご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、平成 24 年度の先行研究「死亡診断書の精度向上における診療情報管理士の介入による記載適正化の研究」（研究代表者＝大井利夫）では、死亡診断書が作成される医療機関において診療情報管理士が助言を行うことにより、死亡診断書の精度に影響を及ぼす要因が減少し、死亡診断書に記された内容の精度が向上することが判明しました。この研究結果を受け、厚生労働省統計情報総合研究・事後評価委員会からは死亡診断書の精度向上を目的に診療情報管理士を関与させることの重要性と診療情報管理士に必要な研修を受けさせ、医療現場で死亡診断書を作成する医師に助言を行う体制の確立が期待されるとの高い評価を得ることができました。

一方、この先行研究の中で検証した死亡診断書の精度向上に影響を及ぼす要因のうち、死亡診断書と退院時要約の内容に相違ありとする項目が今回目立つ結果となりました。その事由は、以前より指摘されていた診療内容の拠り所とした退院時要約自体の記載内容が不十分であることが起因すると考えられ、死亡診断書の原死因選択に影響する経緯が退院時要約に的確に記載されているか否かを検証する必要があると考えました。

本年度は、これらの経緯を踏まえ、DPC 対象病院や臨床研修指定病院など全国 217 病院を対象に、病院毎に使われている退院時要約を記載する際の指針と死亡例を含む実際に書かれた匿名化された退院時要約を集め、その現状の把握を主な目的に企画し研究をすすめています。

つきましては、研究協力病院からの提出データのうち、退院時要約の記載項目の把握について診療情報管理士指導者としての豊富な経験と公正な視点からご協力をお願いしたいと考えております。

今後、診療情報の質向上、ひいては医療の質向上の一翼を担うべく、より一層努力したいと考えておりますので今後ともご理解を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

問い合わせ先：

平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業
統計情報総合研究事務局

一般社団法人日本病院会学術部（通信教育課担当 ちすお 千須和、星野）

電話 03-5215-1044

FAX 03-5215-1045

平成 25 年度厚生科学研究費補助金研究事業「死因統計の精度向上の視点から病院医療の質に資する退院時要約の検討」概要

研究期間：平成 25 年 4 月から平成 26 年 3 月（1 年計画の 1 年目）

研究組織：大井利夫（研究代表者、日本病院会顧問）、川合省三（研究分担者、医療法人さくら会さくら病院副院長）、高橋長裕（研究分担者、千葉市青葉看護専門学校校長）、大塚秋二郎（分担研究者、宇都宮リハビリテーション病院院長）、宮内文久（分担研究者、愛媛労災病院院長代理）、松本万夫（研究分担者、埼玉医科大学国際医療センター心臓内科教授）、三木幸一郎（研究分担者、北九州市立医療センター内科主任部長）、阿南誠（研究分担者、独立行政法人国立病院機構九州医療センター実務統括管理者）、荒井康夫（研究分担者、北里大学病院医療情報管理室課長補佐）以上 9 名

研究概要：全国の研究協力病院毎に使われている退院時要約記載指針の活用状況とその運用においてどの程度退院時要約作成に反映されているのか実態を確認するとともに、退院時要約の記入項目の把握と問題点を抽出する。この検証により、診療記録の総括ともいえる退院時要約が、適切に機能し活用できるようにするために体系的に整理する。

今回の協力作業：

本年度の研究協力病院からは、本研究計画書を受け、病院毎に使われている退院時要約記載指針と匿名化された退院時要約（手術例、非手術例と死亡例の 3 種類）の紙データを提出します。つきましては、本研究班と貴殿との特定封筒（レターパック）を用いた資料のやり取りにより基本記載項目について本研究班が作成したチェックリストへの入力作業を本年 12 月 25 日までに提出していただくようお願いしたいと考えています。

上記内容のとおりでございますが、本研究事業の研究協力者（研究代表者の研究計画の遂行に協力する者）として、評価作業にご協力いただけるか否かにつきましてご回答を賜りたいと考えています。別紙に諾否いただき、誠に急で恐縮ではございますが、11 月 25 日（月）を目途にファクスでお送り願います。また、ご協力いただける皆さまには、順次、研究協力同意書の締結と資料一式をお送りいたします。

諸事ご多忙の折と存じますが、本研究の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

以上

平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金政策科学総合研究事業統計情報総合研究
医療機関からのデータ提供に基づく退院時要約に関する調査への研究協力について

(ファックス 03-5215-1045)

※恐縮でございますが本年 11 月 25 日 (月) までをお願いいたします

研究代表者 大井利夫 行

本厚生労働科学研究の研究協力者として協力することについて

(該当するところに○をお付けください)

協力する

協力しない

日 付 平成 25 年 _____ 月 _____ 日

所 属

氏 名

研究代表者 大井 利夫 殿

研究協力同意書

研究題目 平成 25 年度厚生科学研究費補助金政策科学総合研究事業統計情報総合研究「死因統計の精度向上の視点から病院医療の質に資する退院時要約の検討」

私は、上記研究の趣旨を理解し、次の項目について同意し研究に協力します。

1. 本研究の協力に際して、匿名化した退院時要約コピーから知り得た個人情報等については厳重に管理し、正当な理由なく第三者に対し、開示、提示、漏えいはしません。
2. 今回の研究協力を履行するために、医師の立場から十分な管理対策を講じます。
3. 提出期限を厳守し、提供データと要請のあった課題について、期日までに必ず返却・提出します。
4. 協力内容については、在職中および退職後を通じて遵守することを保証します。

平成 25 年 _____ 月 _____ 日

氏 名 _____ ④

研究代表者 大井 利夫 殿

研究協力同意書

研究題目 平成 25 年度厚生科学研究費補助金政策科学総合研究事業統計情報総合研究「死因統計の精度向上の視点から病院医療の質に資する退院時要約の検討」

私は、上記研究の趣旨を理解し、次の項目について同意し研究に協力します。

1. 本研究の協力に際して、匿名化した退院時要約コピーから知り得た個人情報等については厳重に管理し、正当な理由なく第三者に対し、開示、提示、漏えいはしません。
2. 今回の研究協力を履行するために、診療情報管理士指導者の立場から十分な管理対策を講じます。
3. 提出期限を厳守し、提供データと要請のあった課題について、期日までに必ず返却・提出します。
4. 協力内容については、在職中および退職後を通じて遵守することを保証します。

平成 25 年 _____ 月 _____ 日

氏 名 _____ ④

症例番号	性別	生年	死亡診断書からの一部転記										最終		退院時要約 原死因傷病名	退院時要約 ICDコード	
			(ア) 直接死因	アの期間	(イ) (ア)の死因	イの期間	(ウ) (イ)の死因	ウの期間	(エ) (ウ)の死因	エの期間	Ⅱ欄: 直接には死因に影響 しないが「1欄の…」	Ⅱ欄の期間	手術・解剖ほか (または外因死の「追加事項」または 「その他特に付言すべきこと」など)	最終診断書 原死因傷病名			最終診断 書コード
002D01	女		循環器系疾患の疑い	不明							慢性心不全	不明		慢性心不全	I50.9	蘇生に成功した心停止	I46.0
002D02	女		卵巣癌	約37ヶ月	不明								両側付属器切除、大腸部切除術、S状結腸～大腸に腫瘍の浸潤あり	卵巣癌	C56	卵巣癌	C56
002D03	男		筋萎縮性側索硬化症	約1年3ヶ月										筋萎縮性側索硬化症	G12.2	筋萎縮性側索硬化症	G12.2
002D04	女		呼吸不全	約1週間	脳出血	約1ヶ月半								脳出血	I61.9	被かく脳出血	I61.0
002D05	男		食道癌	1年3ヶ月	不明					間質性肺炎	5ヶ月			食道癌	C15.9	(広範囲)食道癌	C15.8
004D01	男	S 7	右下葉小細胞肺癌	18日										右下葉小細胞肺癌	C34.3	下葉肺癌	C34.3
004D02	女	S 30	胃体部癌	11ヶ月						癌性腹膜炎/転移性骨腫瘍	11ヶ月/1ヶ月	胃癌、腹膜播種、リンパ節転移、多発肝転移、左肺転移、多発骨転移(胸椎、腰痛、肋骨疑い)、両副腎転移、卵巣転移	胃体部癌	C16.2	胃体部癌	C16.2	
004D03	女	S 28	転移性肝がん	5ヶ月	原発不明癌	5ヶ月								原発不明癌	C80	原発不明癌	C80
004D04	女	S 32	進行再発癌	約5年9ヶ月									胃癌卵巣転移	進行再発癌	C16.9	胃体部癌	C16.2
004D05	女	S 49	アルコール性肝硬変	約3日間										アルコール性肝硬変	K70.3	アルコール性肝硬変	K70.3
005D01	男	T 7	出血性ショック	約2週間	進行胃癌	約3ヶ月								進行胃癌	C16.9	胃体部癌	C16.2
005D02	女	S 8	複発性尿路感染症	約3ヶ月	両側腎・尿管結石感染	約3ヶ月				左下枝閉塞性動脈硬化症による下腿壊死	約1ヶ月	両側尿管ステント留置	両側尿管結石	N20.2	尿路感染症	N39.0	
005D03	男	S 15	敗血症	20日	縦隔炎	20日	冠状動脈バイパス術後	32日	急性心筋梗塞	33日			急性心筋梗塞に対し冠状動脈バイパス術を行った。縦隔炎に対しテプリードマンを行った。	急性心筋梗塞	I21.9	急性心筋梗塞	I21.9
005D04	男	T 12	急性心不全	2日間	僧帽弁閉鎖不全症	不明				骨髄異形成症候群	不明		僧帽弁閉鎖不全症	I34.0	心不全	I50.9	
005D05	女	S 33	脳幹部出血	約5日間						慢性腎不全	不詳		脳幹部出血	I61.3	脳幹部出血	I61.3	
007D01	女	S 18	癌性胸膜炎	約3ヶ月	食道癌	約11ヶ月				胃癌	約10ヶ月		食道癌	C15.9	胸部食道癌	C15.1	
007D02	男	S 19	肺癌	2ヶ月	不詳								肺癌	C34.9	主気管支炎	C34.0	
007D03	女	H 25	呼吸不全	2日間	小腸切除、吻合術後							小腸穿孔	小腸穿孔	K63.1	極少低出産児	P07.1	
007D04	男	T 15	心不全	約6ヶ月						腎不全	8年間	上腕動脈表在化、CAPDカテ留置	心不全	I50.9	慢性心不全	I50.9	
007D05	女	S 14	不整脈	約2時間						糖尿病	14年間		不整脈	I49.9	蘇生に成功した心停止	I46.0	
008D01	男	T 15	膜嚢性肺炎	約3ヶ月	脳梗塞(右中大脳動脈心原性塞栓症)	約4ヶ月	発作性心房細動	不詳				気管切開術	発作性心房細動	I48	発作性心細動	I48	
008D02	女	S 42	転移性脳腫瘍(高分化腺がん)	約5ヶ月	原発不明がん	約5ヶ月							開頭頭蓋内腫瘍摘出術、小脳・脳幹に多数の腫瘍あり(転移)腸管・肝・肺の外観は異常なし。子宮筋腫様の腫瘍あり。	原発不明癌	C80	原発不明癌	C80
008D03	女	S 53	脳室内出血	約16日間	モヤモヤ病	不詳						両側脳室ドレナージ術	もやもや病	I67.5	もやもや病	I67.5	

症例番号	性別	生年	死亡診断書からの一部転記										最終		退院時要約 原死因傷病名	退院時要約 ICDコード		
			(ア) 直接死因	アの期間	(イ) (ア)の死因	イの期間	(ウ) (イ)の死因	ウの期間	(エ) (ウ)の死因	エの期間	Ⅱ欄: 直接には死因に影響しないが「Ⅰ欄の…」	Ⅱ欄の期間	手術・解剖ほか (または外因死の「追加事項」または「その他特に付言すべきこと」など)	最終診断書 原死因傷病名			最終診断書 コード	
008D04	女	S 18	くも膜下出血	1週間											くも膜下出血	I60.9	脳底動脈からのくも膜下出血	I60.4
008D05	女	S 21	多臓器不全	3日間	播種性血管内凝固症候群	3日間	敗血症	3日間	腎盂腎炎	3日間	脳挫傷	11ヶ月	脳室腹腔短絡術。乗用車助手席乗車中に単独事故にて受傷。	路上の単独事故同乗者	V48.6	乗用車乗員横転事故	V48.6	
009D01	女	S	脳幹部出血	34時間											脳幹部出血	I61.3	脳幹部出血	I61.3
009D02	男	S	敗血症	2日	肺炎	2日					小脳梗塞	5日	未破裂椎骨動脈瘤	小脳梗塞	I63.9	椎骨動脈瘤(未破裂)	I67.1	
009D03	男	S	播種性血管内凝固症候群	約4日	直腸癌	7ヶ月					うっ血性心不全・多発性転移・両側硬膜下血腫	不明	硬膜下血腫除去術	直腸癌	C20	非外傷性硬膜下血腫	I62.1	
009D04	女	S	被殺出血	24時間	本態性高血圧症	不明							左開頭脳内血腫除去術	被殺出血	I61.0	被かく出血	I61.0	
009D05	男	S	心原性脳塞栓症	5日間	慢性心房細動	不明								慢性心房細動	I48	心房細動	I48.0	
011D01	男	S 8	急性肺炎	5日間										急性肺炎	J18.9	肺炎	J18.9	
011D02	男	S 16	大細胞肺癌	3ヶ月	不明						脳梗塞後遺症	8年間	左肺癌、多発肝、骨、腎、膝転移	大細胞肺癌	C34.9	下葉肺癌	C34.3	
011D03	女	S 16	敗血症	7日間	感染性心内膜炎	2ヶ月	大動脈弁位人工感染	2ヶ月	大動脈弁置換術	7ヶ月	閉塞	26日間	大動脈基部置換、僧帽弁置換、冠動脈バイパス	大動脈弁疾患	I35.9	胸部大動脈瘤破裂性	I71.3	
011D04	男	S 4	播種性血管内凝固症候群	13日	出血性脳梗塞	17日	脳梗塞	27日			胆管癌	1年		脳梗塞	I61.9	脳梗塞 詳細不明の血栓	I63.5	
011D05	男	S 16	肝不全	1ヶ月	肝細胞癌	1年3ヶ月	B型慢性肝炎	24年						肝細胞癌	C22.0	肝細胞癌	C22.0	
012D01	女	S 24	右乳癌	約5年8ヶ月									右乳房全摘術並びにリンパ節郭清	右乳癌	C50.9	乳癌	C50.9	
012D02	男	T 11	急性胆管炎	12日	総胆管結石	32日								総胆管結石胆管炎	K80.3	総胆管結石胆管炎を伴う	K80.3	
012D03	男	S 11	特発性間質性肺炎急性増悪	約8日	突発性間質性肺炎	約半年								特発性間質性肺炎	J84.9	特発性肺線維	J84.1	
012D04	男	S 3	敗血症性ショック	1日間	肺炎	2日間					食道癌、多発肝転移	不詳		食道癌	C15.9	食道癌 部位不明	C15.19	
012D05	女	S 6	卵巣癌	約4月										卵巣癌	C56	卵巣癌	C56	
013D01	女		間質性肺炎	約4年間	不明						気腫性肺のう胞	約4年間		間質性肺炎	J84.9	間質性肺炎	J84.9	
013D02	女		腹膜癌	2年3ヶ月	胃癌	4年					消化管穿孔	7日	幽門側胃切除	胃癌	C16.9	胃癌 境界部	C16.8	
013D03	女		くも膜下出血	1日										くも膜下出血	I60.9	くも膜下出血	I60.9	
013D04	女		くも膜下出血	8日	脳動脈瘤破裂	8日								脳動脈瘤破裂	I60.9	前交通動脈くも膜下出血	I60.2	
013D05	男		脳幹部出血	約10時間	高血圧症	不明								脳幹部出血	I61.3	脳幹部出血	I61.3	
018D01	女	T 14	脳出血	約2ヶ月										脳出血	I61.9	深部脳内出血	I61.0	

症例番号	性別	生年	死亡診断書からの一部転記										最終		退院時要約 原死因傷病名	退院時要約 ICDコード	
			(ア) 直接死因	アの期間	(イ) (ア)の死因	イの期間	(ウ) (イ)の死因	ウの期間	(エ) (ウ)の死因	エの期間	Ⅱ欄: 直接には死因に影響 しないがⅠ欄の…	Ⅱ欄の期間	手術・解剖ほか (または外因死の「追加事項」または 「その他特に付言すべきこと」など)	最終診断書 原死因傷病名			最終診断 書コード
018D02	男	S 6	急性腎不全	1日間	敗血症性ショック	1日間	誤嚥性肺炎	10日間			陳旧性心筋梗塞	9年間		誤嚥性肺炎	J69.0	脳梗塞 詳細不明	I63.9
018D03	男	T 13	肺癌(扁平上皮癌)	46日間										肺癌	C34.9	下葉肺癌	C34.3
018D04	男	S 28	急性肺水腫	4日間	うっ血性心不全	4日間					ネフローゼ症候群	2年		うっ血性心不全	I50.0	うっ血性心不全	I50.0
018D05	女	S 5	十二指腸乳頭部癌	1年3ヶ月										十二指腸乳頭部癌	C24.1	十二指腸癌	C17.0
019D01	女		膵頭部癌	約2ヶ月	不詳						多発性肝転移、骨転移			膵頭部癌	C25.0	膵頭部癌	C25.0
019D02	男		肺扁平上皮癌	約6ヶ月							間質性肺炎	約6ヶ月		肺扁平上皮癌	C34.9	上葉肺癌	C34.1
019D03	男		敗血症	1ヶ月	尿路感染症	5ヶ月					脳出血 脳梗塞	8年		尿路感染症	N39.0	MASA敗血症	A41.0
019D04	男		敗血症	1日	腸閉塞	2日	胃癌術後	6ヶ月						胃癌	C16.9	胃小弯部癌	C16.5
019D05	男		腎不全	約1ヶ月間	ANCA関連腎炎	約1ヶ月間	不明				うっ血性心不全(治水による)	約2日間		ANCA関連腎炎	N05.9	慢性腎不全	N18.9
020D01	男	S 8	肺線維症増悪	38日	顕微鏡的多発血管炎	約7ヶ月								顕微鏡的多発血管炎	M31.8	肺線維症	J84.1
020D02	女	S 7	急性心不全	約2日間										急性心不全	I50.9	うっ血性心不全	I50.0
020D03	男	S 10	脳梗塞(脳幹・小脳梗塞)	約2日	右椎骨動脈閉塞	約2日	不詳							右椎骨動脈閉塞小脳梗塞	I63.2	脳動脈血栓症	I63.3
020D04	男	S 14	肺炎	1ヶ月										肺炎	J18.9	そううつ病	F31.9
020D05	女	S 5	右上顎歯肉癌	5ヶ月	不明						多発肺転移			右上顎歯肉癌	C03.0	上あご歯肉癌	C03.0
023D01	男	S 21	非小細胞肺癌	約1年4ヶ月										非小細胞肺癌	C34.9	肺癌	C34.9
023D02	男	S 18	転移性脳腫瘍	約4ヶ月	胃癌	約9ヶ月						胃噴内部に癌あり。食堂に浸潤。これらを切除。	胃噴門部癌	C16.0	噴門癌	C16.0	
023D03	男	S 31	横紋筋融解症	約1週間										横紋筋融解症	M62.8	横紋筋融解症	M62.8
023D04	男	S 15	胆管癌	6ヶ月間										胆管癌	C24.0	胆管癌	C24.0
023D05	女	T 11	慢性腎不全急性増悪	2日間	左下腿壊死	約1週間	閉塞性動脈硬化症	不詳			汎血球減少症		左下肢動脈血栓除去	左下肢閉塞性動脈硬化症	I70.2	下肢動脈血栓症	I74.3
025D01	男	S 24	S状結腸癌 多発肝転移	約2年							糖尿病	約2年		S状結腸癌	C18.7	S状結腸癌	C18.7
025D02	女	S 36	中咽頭癌	約3年										中咽頭癌	C10.9	中咽頭側壁	C10.2
025D03	男	S 10	右尿管癌	約2年6ヶ月							仙骨転移	約3ヶ月	右尿管全摘術	右尿管癌	C66	尿管癌	C66
025D04	女	T 11	肺炎	14日	不詳						脳梗塞・心房細動・アルツハイマー病	約3年		脳梗塞後遺症	I69.3	動脈脳梗塞	I63.5

症例番号	性別	生年	死亡診断書からの一部転記										最終		退院時要約 原死因傷病名	退院時要約 ICDコード		
			(ア) 直接死因	アの期間	(イ) (ア)の死因	イの期間	(ウ) (イ)の死因	ウの期間	(エ) (ウ)の死因	エの期間	Ⅱ欄: 直接には死因に影響 しないがⅠ欄の…	Ⅱ欄の期間	手術・剖検ほか (または外因死の「追加事項」または 「その他特に付言すべきこと」など)	最終診断書 原死因傷病名			最終診断 書コード	
025D05	男	T 14	咯血	5分	大動脈瘤	不詳								下行結腸癌、大動脈ステント、食道ステント	大動脈瘤	I71.9	胸部大動脈瘤	I71.1
026D01	男	S	敗血症	約1週間							イレウス	約1週間			イレウス	K56.7	尿路感染症	N39.0
026D02	女	T	上腸間膜動脈閉塞症	約17時間	不詳						右下肢急性動脈閉塞症	約17時間	動脈血栓除去術		上腸間膜動脈閉塞症	K55.0	上腸間膜動脈閉塞症	K55.0
026D03	男	T	細菌性肺炎	約1週間	不明								左肺癌手術		細菌性肺炎	J15.9	上葉肺癌	C34.1
026D04	男	T	敗血症	不詳	肺炎	不詳					頸髄損傷	約5ヶ月	2012年9月27日自宅で2.5mの高さから転落し(3-4頸髄損傷となった)その後加療中であった。		自宅で転落	W19.0	転落(樹木)	W14
026D05	男	S	多発性骨髄腫	1年10ヶ月	不詳										多発性骨髄腫	C90.0	多発性骨髄腫	C90.0
028D01	男		脳出血		高血圧症										脳出血	I61.9	被かく出血	I61.0
028D02	女		くも膜下出血		左脳動脈瘤破裂								クリッピング術		左脳動脈瘤破裂	I60.9	分岐部くも膜下出血	I60.0
028D03	女		急性硬膜下出血		不明								急性硬膜下出血		急性硬膜下出血	I62.0	詳細不明 転落	W19
028D04	男		脳梗塞		心房細動										心房細動	I48	心房細動	I48
028D05	女		急性心不全		不明										急性心不全	I50.9	急性心不全	I50.9
030D01	女	S	肝不全	2週	多発肝転移	不詳	膵頭部癌	不詳			多発性脳梗塞	53日			膵頭部癌	C25.0	膵頭部癌	C25.0
030D02	女	S	両側細菌性肺炎	76日	気管支肺炎	3ヶ月									気管支肺炎	J18.0	パーキンソン症候群	G20
030D03	男	S	うっ血性心不全	約9ヶ月	不詳						糖尿病	不詳	右胸郭形成術後(腫瘍術後)		うっ血性心不全	I50.0	うっ血性心不全	I50.0
030D04	女	S	敗血症性ショック	1日											敗血症性ショック	A41.9	うっ血性心不全	I50.0
030D05	女	T	肺炎	約2ヶ月											肺炎	J18.9	脳梗塞 詳細不明	I63.9
031D01	男	S	肝細胞癌 腹膜播種	7ヶ月間							肝硬変	3年10ヶ月	肝細胞癌破裂で当院へ救急搬送され、その後早期に腹膜播種が出現。徐々に全身状態悪化し、緩和ケア導入。死亡となった。	肝細胞癌	C22.0	肝細胞癌	C22.0	
031D02	女	S	末期腎不全	9日											末期腎不全	N18.0	末期腎不全	N18.0
031D03	男	S	急性心筋梗塞	約6時間	糖尿病	約10年									糖尿病	E14.9	前壁中隔心筋梗塞	I21.0
031D04	女	S	肺炎	約2ヶ月	脳梗塞	約2ヶ月									脳梗塞	I63.9	脳底動脈閉梗	I63.3
031D05	女	S	悪性リンパ腫	約3ヶ月									多発リンパ節腫脹		悪性リンパ腫	C85.9	悪性リンパ腫	C85.9
032D01	男	T	誤嚥性肺炎	27日間							心不全	27日間			誤嚥性肺炎	J69.0	急性気管支炎	J20.9
032D02	女	T	多発性脳梗塞	1ヶ月	心房細動	不明					慢性心不全	不明	病理解剖は家族が希望せず施行せず		心房細動	I48	心不全 詳細不明	I50.9

症例番号	性別	生年	死亡診断書からの一部転記										最終		退院時要約 原死因傷病名	退院時要約 ICDコード		
			(ア) 直接死因	アの期間	(イ) (ア)の死因	イの期間	(ウ) (イ)の死因	ウの期間	(エ) (ウ)の死因	エの期間	Ⅱ欄: 直接には死因に影響しないが「欄の…」	Ⅱ欄の期間	手術・解剖ほか (または外因死の「追加事項」または「その他特」に付言すべきこと)など	最終診断書 原死因傷病名			最終診断書 コード	
032D03	女	T	脳頭部癌	2ヶ月	不詳							心不全、心房細動	不詳		脳頭部癌	C25.0	脳頭部癌	C25.0
032D04	男	S	肛門管癌	1年3ヶ月										骨盤腔内一塊の進行癌	肛門管癌	C21.1	肛門管癌	C21.1
032D05	男	S	偽膜性肺炎	3日	緑膿菌性敗血症	7週	緑膿菌性肺炎	7週	関節リウマチ	不明	汎発性帯状疱疹、サイトメガロウイルス感染症	10週		直腸から飛び石状に多発する潰瘍あり。空腸吻側からの消化管出血	関節リウマチ	M06.9	関節リウマチ	M06.9
033D01	男	S 2	膀胱癌	約7年6月											膀胱癌	C67.9	膀胱癌	C67.9
033D02	男	S 3	急性心不全	15分								腸閉塞	4日		急性心不全	I50.9	大腸癌	C18.9
033D03	女	S 5	脳梗塞	3日											脳梗塞	I63.9	脳動脈血栓症	I63.4
033D04	男	S 12	肝不全	約13日	肝癌	約1ヶ月									肝癌	C22.0	肝細胞癌	C22.0
033D05	女	S 6	くも膜下出血	2.5ヶ月							慢性腎不全、心不全、糖尿病			腔室ドレナージ術、腰椎髄液腔ドレナージ術	くも膜下出血	I60.9	中大脳動脈破裂	I60.1
036D01	男	S	多臓器不全	約5日間	低栄養	約1.5ヶ月									低栄養	E46	胃癌	C16.9
036D02	男	S	胃癌	5ヶ月										胃全摘	胃癌	C16.9	胃癌	C16.9
036D03	女	S	肝不全	数時間	胆嚢管癌	約10ヶ月								胆管切除術施行 リンパ節転移あり	胆嚢管癌	C24.0	胆のう管癌	C24.0
036D04	男	S 4	肺炎	約7時間								脳梗塞	約2ヶ月		脳梗塞	I63.9	脳梗塞	I63.5
036D05	男	S	肺炎	4日	急性骨髄性白血病	4ヶ月	骨髄線維症	1年10ヶ月							急性骨髄性白血病	C92.0	急性白血病	C92.9
037D01	女	S 22	敗血症性ショック	数時間	全身熱傷	22日間								熱傷部位に対して全壊切除及び探取と植皮術を施行した。自宅庭で灯油をかぶり火を付けて倒れた状態で発見されたという。全身熱傷で当院搬送。集中治療を行ったが、敗血症性ショックで死亡確認。(◎は判読不能)	庭で焼身自殺	X76.0	多部位熱傷 3度 記載あり	T29.3
037D02	男	S 16	膀胱癌。肺転移性腹膜炎	約13ヶ月	不詳							なし			膀胱癌	C25.9	膀胱癌	C25.2
037D03	男	S 11	間質性肺炎急性増悪	6日間											間質性肺炎急性増悪	J84.9	間質性肺炎	J84.9
037D04	男	S 9	悪性リンパ腫	約2ヶ月											悪性リンパ腫	C85.9	びまん大細胞腫	C83.3
037D05	男	S 28	急性心筋梗塞	約8時間											急性心筋梗塞	I21.9	蘇生に成功した心停止	I46.0
038D01	男		S状結腸癌	1年								慢性腎不全(透析)	28年		S状結腸癌	C18.7	S状結腸癌	C18.7
038D02	女		心不全	1時間								慢性心房細動	不詳		慢性心不全	I50.9	うっ血性心不全	I50.0
038D03	女		急性心不全	約2日間	慢性腎不全	3年4ヶ月	不詳								慢性腎不全	N18.9	心房細動	I48
038D04	男		外傷性脳内血腫	11日間	頭部外傷	11日間								廊下で転倒し受傷	病院の廊下で転倒	W18.2	転倒	W18
038D05	男		肺炎	約10日間							肺癌	約2ヶ月間			肺癌	C34.9	上葉肺癌	C34.1

症例 番号	性別	生年	死亡診断書からの一部転記										最終		退院時要約 原死因傷病名	退院時要約 ICDコード		
			(ア) 直接死因	アの期間	(イ) (ア)の死因	イの期間	(ウ) (イ)の死因	ウの期間	(エ) (ウ)の死因	エの期間	Ⅱ欄: 直接には死因に影響 しないがⅠ欄の…	Ⅱ欄の期間	手術・解剖ほか (または外因死の「追加事項」または 「その他特に付言すべきこと」など)	最終診断書 原死因傷病名			最終診断 書コード	
039D01	女		脳内出血(脳室穿破)	16日							急性水頭症/CKD左上肢骨融解	16日/不詳	両側脳室穿頭ドレナージ	脳内出血脳室穿破	I61.9	視床出血	I61.0	
039D02	男		呼吸不全	1ヶ月	誤嚥性肺炎	2ヶ月	慢性閉塞性肺疾患	不詳			うっ血性心不全	4ヶ月		慢性閉塞性肺疾患	J44.9	肺化膿症	J85.2	
039D03	女		肺水腫	4日	急性心筋梗塞	4日					多発脳塞栓症	4日		急性心筋梗塞	I21.9	急性心筋梗塞	I21.9	
039D04	女		脳梗塞	6日間										脳梗塞	I63.9	脳梗塞 詳細不明	I63.5	
039D05	男		肺炎	約6日間	不詳						肺炎腫	不詳		肺炎	J18.9	肺炎腫	J43.9	
041D01	男		高K血症	不詳	急性腎不全	不詳								急性腎不全	N17.9	急性腎不全	N17.9	
041D02	男		呼吸不全	14日	肺癌	9ヶ月								肺癌	C34.9	急性心筋梗塞	I21.9	
041D03	男		急性心筋梗塞	数時間							腎不全、糖尿病、慢性閉塞性動脈硬化症	約13年間	左足趾切断術	急性心筋梗塞	I21.9	急性心筋梗塞	I21.9	
041D04	男		転移性肺癌	8日	不明	8日							原発巣を精査してみたが確定しないうちに亡くなられた。肺～胸膜原発が疑われる。	肺または胸膜原発癌	C34.9	転移性肺腫瘍	C78.0	
041D05	女		急性白血病	約1.5ヶ月							多発性骨髄腫	約3.5年		急性白血病	C95.0	急性骨髄性白血病	C92.9	
042D01	女	S 25	低酸素血症による多臓器不全	14時間58分	急性失血による循環器不全	14時間58分	常位胎盤早期剥離	14時間58分						腹腔内出血、腸管壊死	常置胎盤早期剥離	P02.1	重度出生児仮死	P21.0
042D02	女	S 4	左肺癌	約4年	不詳								左下葉切除+舌区域切除	左下葉肺癌	C34.3	下葉肺癌	C34.3	
042D03	女	S 18	細菌性肺炎	約1ヶ月							陳旧性肺結核 右肺切除後	約40年		細菌性肺炎	J15.9	肺炎 詳細不明	J18.9	
042D04	女	S 29	乳癌	不詳										乳癌	C50.9	乳房上外側癌	C50.4	
042D05	男	S 26	くも膜下出血	1時間										くも膜下出血	I60.9	くも膜下出血 ※病名のみ掲載なし	60.9	
043D01	女	S 9	脳梗塞	4日										脳梗塞	I63.9	脳動脈塞栓または血栓	I63.5	
043D02	女	S 24	膝頭部癌	不詳										膝頭部癌	C25.0	膝頭部癌	C25.0	
043D03	男	T 12	上部消化管出血疑い	約12時間	直腸癌(Rc)	約1ヶ月	不詳	不詳					直腸切断術	直腸癌	C20	直腸癌	C20	
043D04	女	S 18	肺癌脳転移	1年4ヶ月										肺癌	C34.9	肺癌	C34.9	
043D05	男	S 7	前立腺癌	約3年	不詳									前立腺癌	C61	前立腺癌	C61	
046D01	男	S 4	多臓器不全	63日間	敗血症(MRSA)	82日間	下肢壊疽	約半年間	2型糖尿病	不明				2型糖尿病壊疽	E11.5	MRSA敗血症	A41.0	
046D02	男	S 9	心原性ショック	短時間	肺塞栓症	10時間	深部静脈血栓症	不詳						深部静脈血栓症	I80.2	肺塞栓	I26.9	
046D03	男	S 9	脳挫傷	約10時間	頭部打撲	同上							約2mの脚立から転落し後頭部を打撲した。	住居で脚立から転落	W11.0	脚立 転落	W10	

症例 番号	性別	生年	死亡診断書からの一部転記										最終		退院時要約 原死因傷病名	退院時要約 ICDコード				
			(ア) 直接死因	アの期間	(イ) (ア)の死因	イの期間	(ウ) (イ)の死因	ウの期間	(エ) (ウ)の死因	エの期間	Ⅱ欄:直接には死因に影響 しないがⅠ欄の…	Ⅱ欄の期間	手術・解剖ほか (または外因死の「追加事項」または 「その他特に付言すべきこと」など)	最終診断書 原死因傷病名			最終診断 書コード			
046D04	男	S 17	肝細胞癌	6ヶ月	肝硬変	5年								肝臓、表面粗硬、びまん性肝細胞癌、血性腹水貯留	肝細胞癌	C22.0	その他の肝硬変	K74.6		
046D05	男	S 22	癌性胸膜炎	約1年4ヶ月	左下葉肺腺癌	約1年4ヶ月						消化管出血	約3日		左下葉肺腺癌	C34.3	下葉肺癌	C34.3		
050D01	女	S 28	右肘悪性末梢神経鞘腫	1年								神経線維腫症Ⅰ型	60年	悪性腫瘍切除術	右肘悪性末梢神経鞘腫	C47.1	悪性末梢性神経鞘腫瘍	C47.1		
050D02	男	S 4	胆管炎	20日	十二指腸乳頭部癌	5ヶ月27日									十二指腸乳頭部癌	C24.1	十二指腸乳頭部癌	C17.0		
050D03	男	S 40	S状結腸癌 術後再発	約2ヶ月	不詳	不詳								S状結腸に対してハルトマン手術施行	S状結腸癌	C18.7	S状結腸Ca	C18.7		
050D04	男	S 11	膝頭部癌	1ヶ月	不詳							急性膝炎	1ヶ月		膝頭部癌	C25.0	膝頭部癌	C25.0		
050D05	女	S 15	肺癌	11ヶ月	不明										肺癌	C34.9	気管支癌	C34.8		
052D01	男	S 27	心室細動	約2日間	急性心筋梗塞	約2日間									急性心筋梗塞	I21.9	心臓性突然死	I46.1		
052D02	女	S 35	左乳癌	約1年4ヶ月										CVポート挿入術	左乳癌	C50.9	乳房中央部	C50.1		
052D03	男	H 16	脳幹部腫瘍	7ヶ月										開頭腫瘍生検	脳幹部腫瘍	D43.1	脳幹部癌	C71.7		
052D04	男	S 16	転移性肺腫瘍	1年1ヶ月	右大腿骨骨肉腫	1年8ヶ月	不詳							右鎖骨腫瘍切除、右大腿骨人工骨頭置換術	右大腿骨骨肉腫	C40.2	大腿骨骨肉腫	C40.2		
052D05	男	S 20	脳梗塞	約3日											脳梗塞	I63.9	脳動脈の詳細不明 閉塞または狭窄	I63.5		
054D01	男	S 13	右肺癌	1年11ヶ月								腰椎転移/小腸転移	1年8ヶ月/ 2ヶ月	右上葉切除、胸壁合併切除、リンパ節郭清	右上葉肺癌	C34.1	右上葉肺癌	C34.1		
054D02	女	S 41	T細胞性リンパ腫	4ヶ月											T細胞性リンパ腫	C84.5	NK/T細胞性リンパ腫	C84.5		
054D03	女	S 10	胆のう癌	1年11ヶ月											胆嚢癌	C23	胆のう癌	C23		
054D04	男	S 21	下咽頭癌	約1ヶ月											下咽頭癌	C13.9	中咽頭後壁癌	C10.3		
054D05	男	S 6	間質性肺炎	約1ヶ月	脳悪性リンパ腫	約3ヶ月								頭蓋内腫瘍摘出術	脳悪性リンパ腫	C85.9	びまん性大細胞型B細胞癌	C83.3		
055D01	女	S 38	胃体部癌	6ヶ月	不詳									開腹単純幽門側胃切除術 腹膜播種陽性でリンパ節廓清施行せず	胃体部癌	C16.2	幽門部胃癌	C16.4		
055D02	女	S 3	胃癌	1年3ヶ月										進行胃癌に対して幽門側胃切除	胃癌	C16.9	胃幽門部癌	C16.4		
055D03	男	H 9	急性骨髄性白血病	約1年1ヶ月								先天性胆道閉鎖症	16年	生体肝移植	急性骨髄性白血病	C92.0	急性骨髄性白血病	C92.0		
055D04	女	S 23	急性循環不全	約2日										大動脈弁狭窄症	不明	大動脈弁置換術。大動脈弁異常なし。冠動脈閉塞なし。肺動脈内血栓なし。	大動脈弁狭窄症	I35.0	大動脈弁狭窄症	I35.0
055D05	男	S 19	膀胱癌	不明										膀胱全摘	膀胱癌	C67.9	膀胱癌	C67.9		
056D01			COPD(慢性閉塞性肺疾患)	不詳	不詳									右大腿骨転子部骨折	42日	右大腿骨転子部骨折	慢性閉塞性肺疾患	J44.9	慢性閉塞性肺疾患	J44.9